

市民からいただいたご意見（要約版）

※市民フォーラムでいただいたご意見やメールやFAX等を通じていただいたご意見を基本構想の項目ごとに分類・整理しています。重複する意見はまとめて記載するなど、ご意見を要約して記載していますので、原文については別紙1をご参照ください。

◆「まちの将来像」に関するご意見

- 「まちの将来像」については、土地、環境にとらわれており、まちの活性化について深く議論してもらいたい。
- 湧水・清流は一体のものであり、切っても切り離すことができないため、「みんないきいき 活力あふれる 湧水・清流のまち 東久留米」と「清流」を追加してもらいたい。

◆「まちづくりの基本理念」に関するご意見

- 「ひと」が中心となって、若い人たちが「レガシー」づくりに加わり、「レガシー」を共につくっていく意欲が欲しい。
- 「みんなが主役」というのは、主役の顔がみえないため、世代をしぼったりすると良い。
- 「税」や「公」にたよらない市民を育てることが必要。

◆「まちづくりの基本目標」に関するご意見

「共に創るにぎわいあふれるまち」

①地域経済の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 独自の自然の良さを強化・アピールし、外から人を集める活動が必要。 ● 高齢者や女性が働きやすい環境づくり（コミュニティビジネスの推進、空き施設の活用等）の推進が必要。 ● IoT・ロボット等急速に進展する産業のイノベーションへの対策が必要。
②都市農業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 上の原地区の活性化事業と同様に、他の地域も検討すべき。企業誘致は税収増加につながるため重要である。 ● 土地の用途変更を丁寧に進め、「病院、介護施設」の誘致を促進してもらいたい。
③地域力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 農地の保全を活かしたまちづくりが必要。 ● 商工業・農業の継承・発展についての対策が必要。 ● 地産地消の推進が必要。 ● 地域の助け合いが必要。
④生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 「税」や「公」にたよらない市民を育てることが必要。【再掲】 ● 健康・スポーツ施設の活用や活動の強化が必要。 ● 国際交流活動や地元国際学校の人々との交流が必要。 ● 外国人との交流がまちの活性化や人口増加につながる。

「安心して快適にすごせるまち」

① 安全・安心な地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 「防災・防犯対策の充実」や「交通安全の推進」、「消費者相談」が、同一レベルで記載されているが、防犯・交通安全対策は警察、消費者相談は市役所の極一部である消費者センターが主に担うことであり、防災対策とは、一線を画す。 ● 多くの人命にかかわる防災対策は、もう少し力を入れる姿勢を見せるべき。 ● 防災について、今まで以上に万全の体制を整えてほしい。
② 都市基盤整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりの基本として、何よりも防災が必要と感じている。 ● 予想を超える災害の可能性を考え、危機管理の意識向上が必要である。 ● 住民自身による自助、地域コミュニティにおける共助が災害対策に重要。 ● 地域における防災学習や訓練に参加し、災害時に備えることが重要。 ● 商業施設等と連携した避難場所の確保が必要。 ● 農地が宅地化される一方、人口減少による空き家問題への対策が必要。 ● 人口減少の流れに対して宅地化による緑地の減少に歯止めをかける必要がある。

「いきいきと健康に暮らせるまち」

① 高齢者がいきいきと暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者のために優しい、暮らしやすいまちにしてほしい。
② 障害者がいきいきと暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者や障害者が強調されすぎているように感じる。「高齢者や障害者を含むすべての人々」という表現にしてほしい。 ● 「すべての人に『居場所と出番』を」という文言をどこかに記載してもらいたい。
③ 健やかな生活を支える保健医療の推進	

「子どもが豊かに成長できるまち」

① 子どもを安心して生み育てられる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校を含む地域社会が子供を包摂して育てていくまちを目指すべきである。
② 子どもの未来を育む学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの育成環境や虐待、いじめ等の課題への対策が必要。 ● 子ども、保護者、教職員の関係の再構築と教育の見直しが必要。

「自然と共生する環境にやさしいまち」

① 水と緑を守り育てる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 湧水や清流等の地域資源を活かしたまちづくりの推進が必要。 ● 単に水を守るだけではなく、それを活かした財政面での貢献が必要。 ● 将来にわたって「湧水のまち」を標榜するためには、市単独の努力だけでは無理で、後背地である近隣市の協力が必須であることから、「近隣市との連携・協力」を盛り込むことが必要。
② 地球環境にやさしいくらしづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民が恩恵を受けているのは湧水そのものもあるが、より多くは清流の方である。 ● 地球温暖化対策として宅地に土を残すことが必要。 ● 地球温暖化の歯止めのため、市民レベルでの意識向上が必要である。

◆「基本構想実現のために」に関するご意見

①協働によるまちづくりの推進	● 情報発信方法を工夫し、若者のまちづくりへの参加を促す必要がある。
②互いに尊重しあえる意識の醸成	● 「ひと」が中心となって、若い人たちが「レガシー」づくりに加わり、「レガシー」を共につくっていく意欲が欲しい。【再掲】
③持続可能な行財政運営	● 歳入を増やす取り組みの努力が足りない。 ● プライマリーバランスを重視した取り組みを。

◆分類分けができないご意見

<ul style="list-style-type: none"> ● 湧水の保全と活力(地域経済の活性化)は相反する面があり、バランスを取るのが難しい。どうやって実現していくのか。 ● まちの活性化に重点を置くと環境問題につながるため、リスクを見据えた取り組みが必要。 ● 「地域経済の活性化」を推進していくに当たっては、基本目標「自然と共生する環境にやさしいまち」と調和を図りつつ、行っていく必要がある。 ● 5つの基本目標のうち、「共に創るにぎわいあふれるまち」以外は「姿」に関するものである一方、「共に創るにぎわいあふれるまち」は「姿」と「達成方法」の両方が含まれているため、別建てとすべき。 ● 「共に創るにぎわいあふれるまち」の半分と、「安心して快適にすごせるまち」「いきいきと健康に暮らせるまち」「子どもが豊かに成長できるまち」は人々の「在り様」で、「自然と共生する環境にやさしいまち」が「舞台」に関する事。この湧水・清流という地域資源をおおいに有効に活かしたまちづくりを進むため「湧水のまち」という「舞台」を先に提示する方が良い。
